

令和8年度 指定管理者制度モニタリング評価表（令和7年度末時点）

1 施設概要			
(1) 基本的事項			
施設名	尼崎城址公園、城内地区自動車駐車場	施設所管課	経済環境局 商業観光課
施設住所	尼崎市北城内27	竣工	H30.11.30(築満7年)
設置目的	若男女問わず歴史・文化を楽しく学び、市民のシビックプライドを醸成・賑わいの創出を図るための施設		
主な事業内容	尼崎城天守、一般園地、駐車場の施設運営及び施設維持管理業務。イベント実施等の賑わい創出事業		
指定管理者名	阪神尼崎駅周辺まちづくり共同企業体	指定期間	自 R5.4.1 至 R10.3.31
(2) 施設の政策的な特性に係る事項			
施設分類	A(施設維持管理に加え、市の政策目的に沿った取組を、市と協働で展開していく施設)		
指定管理者に主として期待される事項	☑専門的なノウハウを生かした市の施策目的に資する事業実施		
	☑効率的な施設維持管理運営 ☐団体等の担い手としての成長 ☐その他()		

有効性	3 市と指定管理者が年度当初に共有した目標及び達成状況等の評価												
	施設目標の達成に向けた取組（指定事業の効果的な実施、自主的な取組の実施）												
	今年度の取組方針や目標（前年度末又は指定初年度当初に協議し決定）												
	賑わいの創出による尼崎域有料入城者数の増加												
	実施結果												
	ワークショップイベントや漫画・ゲームキャラクターを使用した施策を積極的に実施した結果、利用者満足度は概ね目標に達した。一方で、入城者数については、昨年より増加傾向となり、目標を概ね達成した。												
	(参考) 有効性に関する指標の設定及びその状況												
	指標①：利用者満足度（単位：％）												
	年度	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	R13	R14	R15	
	目標	80	80	80	80	80							
効率性	実績	76	76	79									
	達成度	95%	95%	98%									
	評価	○	○	○									
	指標②：尼崎城天守有料入城者数（単位：千人）												
	年度	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	R13	R14	R15	
	目標	60	60	60	75	105							
	実績	49	67	72									
	達成度	82%	112%	96%									
	評価	△	◎	○									
	◎目標を大きく上回った/上回ったに近い実績で推移している、○目標を（概ね）達成した、△目標未達（事情あり）、×目標未達（事情なし）												

効率性	①決められた指定管理料内で、市民サービスが維持・向上されているか												
	今年度の取組方針や目標（前年度末又は指定初年度当初に協議し決定）												
	業務の一元化、流動的な人員配置を行い、「運営コストの抑制」と「サービスレベルの向上」を両立させる。												
	実施結果及び評価												
	従事する職員のマルチスキル化、窓口・受付機能、鍵の施錠・解錠、駐車場管理(城址公園・城内地区)を一元化することで、「運営コストの抑制」と「サービスレベルの向上」に努めている。												○
	市民サービスが、◎大幅に向上した、○維持・向上した、△低下した（特別な事情あり）、×低下した（事情なし）												
	②効率性と環境に配慮した施設管理とを両立できているか												
	今年度の取組方針や目標（前年度末又は指定初年度当初に協議し決定）												
	「尼崎市エネルギーの地産地消促進事業」での電気調達を実施するなど、環境へ配慮した取組を行う。												
	実施結果及び評価												
	「尼崎市エネルギーの地産地消促進事業」での電気調達を実施するなど、環境へ配慮した取組を行っている。また、エアコンの温度設定を天守内の利用者数に応じて管理するなど、省エネの取組を行っている。												○
	◎高水準で両立している、○両立している、△両立しているとは言いえない、×環境への配慮が不足している												
	(参考) 経費の状況(単位：円)												
	収入						支出						
	項目	予算額	決算額	差引	項目	予算額	決算額	差引					
	指定管理料	72,343,000	72,343,000	0	人件費	22,098,000	27,986,633	-5,888,633					
					施設維持管理運営費	38,621,000	34,391,217	4,229,783					
					その他	11,624,000	10,717,687	906,313					
								0					
	収入計	72,343,000	72,343,000	0	支出計	72,343,000	73,095,537	-752,537					

2 指定期間全体を通じての目標・実績	
(1) 指定管理者の選定及び指定に当たって重視された事項（選定委員会での主な意見又は市の意思決定理由）	
重視された事項	団体の所有する資源の活用により、エリア全体を俯瞰した企画・広報が可能であることが指定理由である。
	選定基準は①対象施設周辺エリアの賑わい創出、魅力向上が図られるものであるか ②市民の平等な利用が確保されるものであるか ③施設の利用を最大限に発揮させるとともに、その管理に係る経費の縮減が図られるものであるか ④施設の管理を安定して行う能力を有しているものであるか ⑤賑わいづくりや魅力向上に向けて相乗効果を発揮するような新たな提案(加点)
指定管理者自身が設定した目標	○施設の一体的な管理運営による効果的な賑わい創出や周遊促進につながる施設間連携の強化、利便性・快適性の強化等に努めます。
	○維持管理方法の効率化や維持管理水準の適正化によりコスト削減に努めます。
	○統括責任者にマネジメント機能を強化し、企業体としての経営資源(ヒト、モノ、カネ)の効果的運用や情報の一元化、円滑な調整及び意思決定の迅速化を行うことで、事業全体を円滑にコントロールします。

(2) 市と指定管理者の協議によって設定する目標						
施設のありたい姿						
市民のシビックプライドの醸成、来訪者の増加による賑わいの創出						
目標指標	指標	尼崎域有料入城者数(千人)				
	指定期間	R5	R6	R7	R8	R9
	目標値	60.00	60.00	75.00	70.00	105.00
	実績値	49.48	67.39	72.07		
		達成状況の評価				
		入城者数増加に向け、漫画・ゲームキャラクターを使用した施策をはじめ様々な取組を行い、昨年より増加傾向となり、目標を概ね達成した。				

適正性	法令遵守	
	施設の管理運営や設備点検、訓練等を適正に行っているか	適正
	貸与備品等について台帳を整備し、適切に管理しているか	適正
	公文書管理条例の趣旨に則り、文書を管理しているか。協議録等、必要な文書を作成しているか	適正
	個人情報保護の保護に関する法律等や情報公開に係るルールを遵守しているか	適正
	公共調達基本条例、暴力団排除条例、その他の法令は遵守されているか	適正
	施設の経営状況	
	収支及びその結果報告や変更時の報告・連絡・相談が適切・適正にされているか	適正
	指定管理者自身の経営状況は健全か	適正
	危機管理・事故防止の安全対策や防犯・防災対策が適切にとられているか	
パートナーシップ	災害時の対応について、市との協議・共有が図られているか	
	災害時や緊急時のマニュアルを作成し、定期的に訓練等を行っているか	適正
	災害時や緊急時の対応責任者、責任体制は整備されているか	適正
	履行計画・提案時及び年度当初の計画等のとおりに業務を行ったか	
	年度事業計画書における計画どおりに業務が遂行されたか	適正
	選定時の提案内容が実施されているか	適正
	業務マニュアルを定めるなど、安定的に履行できるよう取り組んでいるか	適正
	関係性の構築	
	電話や対面による随時の情報共有や意見交換を通じて、目標達成に向けた施策の検討・実施を行い、緊密に連携しながら信頼関係を構築した。	
	協働の状況（グループAは協働の相乗効果の視点、グループBはパートナーシップを踏まえた施設管理業務の状況）	

パートナーシップ	市と指定管理者が相互に連携・協力し、来城者の獲得に向けて、イベントやワークショップの開催、割引券の配布、市内小学生の招待(校外学習)、尼崎市ホームページや市報を活用した情報発信、お城EXPOへの出展などの取組を実施し、目標達成に向けて取り組んでいる。	
	指定管理者の考える成果と課題及びより良い施設維持管理に向けた市への提案事項（総括）	
	昨年に引き続き、ワークショップイベントをはじめとした各種イベントを開催し、利用者に楽しんでいただく取組を実施した。また、周辺施設への周遊促進については、漫画・ゲームキャラクターを活用した施策に積極的に取り組み、尼崎城の認知度拡大にもつなげることができた。一方で、維持管理の質向上を図るため、市や警察・学校と連携しながら、公園の安全・治安維持の確保を進めていきたい。さらに、天守の魅力向上に繋がるコンテンツの充実について検討を継続する。中央公園広場と尼崎城址公園、周辺施設との周遊性の向上についても、利用促進に向けた取組を進めていく。	
	なお、最低賃金上昇や物価高騰に伴い、施設運営に係る費用が事業開始前の想定を上回っていることから、指定管理料の見直しについてご検討をお願いしたい。	
	市の考える成果と課題及びより良い施設維持管理に向けた指定管理者への提案事項（総括）	
	施設の維持管理については、年間を通じて計画的な保守点検及び適切な管理運営が実施されており、利用者が安全かつ安心して利用できる環境が確保されている。また、スタッフによる来城者への案内や接遇についても高い評価を得ており、施設の満足度向上に大きく寄与しているものと認められる。	
	事業面では、季節やターゲット層を意識したイベントの実施に加え、話題性のあるコンテンツとの連携や体験型事業を積極的に展開することで、尼崎城の魅力発信と来城促進に努められた。特に自主事業については、来城者の興味・関心を引き出す工夫が見られ、施設の賑わい創出に一定の成果を上げたものと評価できる。	
	一方で、入城者数は前年度実績を上回る成果が見られるものの、目標値の達成には至っていない状況である。今後は、観光客のみならず市民の利用促進や再来城につながる企画の充実を図るとともに、SNSや各種媒体を活用した情報発信の強化、周辺観光資源との連携による誘客施策について、市と指定管理者が協力して検討を進めていく必要がある。引き続き、施設の魅力向上と安定した管理運営について検討していきたいと考える。	
	双方の総括を踏まえた協議の結果及び今後の取組の方向性（単年度及び指定期間中の目標を踏まえて記載）	
	この3年間の指定管理期間を通して、例えば夏休み期間におけるワークショップイベントの開催といった成功事例も生まれてきている。そうした成功事例を継続して実施していくことで、安定した来城者の獲得に繋げていきたい。また、令和7年度は、大阪・関西万博が開催され、市と指定管理者で協力して魅力の向上と発信を行った結果、令和6年度よりさらに入城者数の増につながった。なお、大阪・関西万博による集客が一過性のものとならないよう、双方に検討し実施していきたい。	

令和8年度については、これまでの事業成果や課題などの洗い出しを指定管理者と連携して行い、令和10年度からの次期指定管理募集に向けた仕様書等に、その内容を盛り込むことで、更なる入城者数の増や賑わい創出につなげていく。	
---	--